

第1回 三重CSTシンポジウム アンケート

	1. 所属	2. 本日の感想	3. ご意見、ご要望
1	小学校教員	さまざまなポスターを見ることができ、そこから実践例や応用例を知ることができた。今後の授業に役立てていきたい。また、CSTの活動について改めて考えることができ、その中で解決すべき課題を見出すことができた。	CST養成プログラムを受講する中で、視野が広がっているのを感じています。プログラム内容はとても興味深く、学んだ内容を小学校の教育にどう活用していくか、どう活用できるか、考えることが楽しく、実際に活用し、手応えを感じています。また、学んだことを他の教員の方に広めて、「助かったわ。」「子どもが喜んでいた。」などの声を聞くこともでき、理科授業の支援をすることもできています。
2	小学校教員	現場の先生方や大学院生の実践を聞かせていただき、大変参考になりました。	
3	小学校教員	今までの学びについて、多方面の方々に知っていただけたことに感謝します。自分、そして共に学んだ方たちも、色々迷いながら今日まで来ましたが、学んできたことが生きることを確認することができたと思います。このように交流する場は大切であると思いました。	内容がかぶるものが多数あるように思います。チームにまとめる、テーマごとに分担する等の分担をした方が、もっとより効果的なシンポジウムになるのではないかと感じました。準備物は事前に詳しく指示していただけるとありがたいと思います。
4	中学校教員	今日のシンポジウムを節目として、CSTに向けた取り組みをさらにならばっていいと思います。ポスター発表では、様々な意見を頂き、自分の次の課題も見えてきました。	CSTの認定後も、スキルアップのための場を作っていただきたいです。
5	中学校教員	他のCSTのポスター発表など、よい刺激になった。シンポジウムについては、長期的に目標をもって、取り組んでいきたいと思った。CSTとして、よりよい発表をしていかないといけない。	
6	中学校教員	ポスター発表の際に、CST同士で情報交換を行えたのが良かったです。今回のような外向けのシンポジウムも良いですが、CST同士が意見交換しながら、互いの実践を報告・相談し合える機会がもっと増えると良いと思います。	
7	中学校教員	実践の交流の場となり、良いシンポジウムとなった。教育現場でどうやって行動しているのかが大切であり、子どもの活動がどうやって活性化したのかが悩み所でもあります。ポスターセッションで自分の新しいテーマや、壁の突破に向けてのヒントが見つかりました。	
8	中学校教員	自分が参加させてもらっているCSTプロジェクトに対する期待の大きさや、未来性、重要性を感じました。初めての経験をたくさんさせていただいて感謝しています。授業で子どもにかえしていきます。	
9	中学校教員	多くの立場の方々から、様々な視点での話を聞くことができ、自分の今後の有り方を再確認することができた。視野が開かれた気がします。	

第1回 三重CSTシンポジウム アンケート

10	中学校教員	ポスター発表では、様々な実践が見ることができて、とても参考になったのと同時に、自分自身がこのままで本当に良いのか、意識が低すぎないか、でもどうしたらいいのかわからない不安な気持ちにもなった。CSTを受けるときは、まさかこんな・・・という気持ちですが、今後も自分の力は小さなものですが、やれることは逃げずにやっと思っています。	
11	中学校教員	今後の活動方向が少し見えてきた気がした。日々の授業をわくにはめず、いろいろな方法でこれからも教材研究していきたいと思いました。	ポスターの内容、今日の内容、動きを事前に知り、分担していくと内容がまとも充実すると思いました。
12	中学校教員	発表も多い切り口で非常に参考になりました。ICT機器の充実が進む中、真の部分として、実物重視の支援としてICT活用という面で、今回学んだことを実践していきたいです。今回の発表者としてパワーポイントは作りました。しかし、作らなくていいとのことやめました。評価していただいた方のご指摘の通りだと思いました。	・役割分担で効率よく配置するといいです。 ・まだ第一歩ということで仕方ないこともありますが、それぞれのブースにも説明をする教員配置をした方がいいと思います。
13	大学教職員	とても多くの参加者があり、活発な活動状況が反映されていたと思います。何より、受講者の発表が生きいきとしていて、CSTプロジェクトの成果を表していると思いました。非常に盛りだくさんのシンポジウムでありながら、スムーズに進行し、時間通りにスケジュールがこなされたには、企画者の皆さんのご努力によるものだと思います。充実したシンポジウムであったと思います。	
14	大学教職員	受講生にとって非常に意義のある取り組みであったことが伝わってきました。これからCSTに認定された先生方が核になって実践され、三重の科学教育が全国でもトップクラスと言われるようになることを期待します。	
15	大学教職員	貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。とてもバランスのよいシンポジウムであったと感じます。受講生による発表や、ここまでの道のりの大変さだけが語られるというのではなく、全体像の説明、それらが可能になった経緯、立場の異なる方々からのそれぞれの思いや学びetc…特に、普段あまりお聞きする機会のない、各市町の規模に合わせた教委独自の動き方、進め方、広げ方を模索されているという現状を知ることができたのが、個人的には発見でした。子どもたちの学びを支え、ひらき、ゆたかにしていくのに、当の先生方自身が同僚や同志とともに学ぶ楽しさや、新たに会おう、出会い直す刺激、喜びを手にかけていることが、(数人の先生方もおっしゃっていましたが)子どもたちにダイレクトに伝わりつながっていくことであるのだなあと改めて考えさせられました。	理科が専門でもなく、得意でもない立場からですが… 理科好きな子どもを育てたい、理科離れをなくしたい、という目的にとどまらず、小・中いづれにおいても、理科に強い“CST”(教員)が各校にいてことで、他教科への影響や接続、連携についても気になります。(だいたい先の課題かとは思いますが)理科だけで、“理科につよい子ども”が育つのではなく、様々な教科や世界との連関で、全体で育まれていくといいな…と思います。他教科とのコラボや、CSTの企画する専門性を活かした総合的なプログラムなどができていったらすてきななあと期待しております。本当にありがとうございました。

第1回 三重CSTシンポジウム アンケート

16	大学教職員	先生方の発表で、CST事業が活きていることがよく理解できた。	先生方とのネットワークはできかけていることは感じられた。教育学部の学生と先生との交流は強化が必要と感じられた。
17	大学教職員		これからのCST教員のご活躍を祈念します。
18	大学教職員	CSTの皆さん、受講者の皆さんがとても熱心に理科教育について語っておられる点がとても印象的でした。教材の開発だけでなく、授業の展開を意識した取り組みが行われていることも参考になりました。三重県内のCSTのネットワーク構築を今後どのように進めるかが大切ですが、教育委員会の強力なバックアップがあり、三重CST事業の発展が期待できると思います。	
19	大学教職員	有意義なシンポジウムでした。	
20	大学教職員	良かった。	つかれた。休憩時間を入れてほしい。
21	教育委員会	受講者の方々の成長変容に感動しました。スタート時は、不安や戸惑いだったものが、半年後には手ごたえに変わり、今日の発表からは、自信が感じられました。さらには理科教育の未来について語る若い先生や学生の姿もあり、CST研修の充実ぶりを感じます。受講者の成長に伴い、今後増々問われるのは、教委の姿勢だと感じています。CSTの事業を最大限活かせるよう、教委も智恵をします。	
22	教育委員会	受講者のみなさんの発表をポスターセッションにしたのは、よい工夫と思いますが、授業改善や教材開発の実例として代表的なものを1つ、くわしく発表する機会があってもよかったと思います。	
23	教育委員会	シンポジウムが開催できましたこと、これまでの皆様のお取組の成果です。さらなるご発展を祈念しております。	
24	教育委員会	時間設定どおりで良かった。	

第1回 三重CSTシンポジウム アンケート

25	教育委員会	<p>大学として事業展開に取り組んでおられると感じました。またシンポジウムもそれぞれの立場からの報告があり、工夫あるプログラムが構成されていると感じました。ポスター・ワークショップ発表の場面は、CST中心の運営がなされるとさらに充実するのではないかと思います。</p>	<p>養成したCSTに対するフォローアップ、活用場面の設定等、さらに検討をすすめていく必要があると思いました。関係教育員会職員、所属校長の参加(シンポジウム等への)をさらに呼びかけていく必要があると感じました。CSTには、多様な授業展開技術をさらに身につけるとともに、他へ還元する伝える力(プレゼンテーション力)を身につけてほしいと願います。</p>
26	その他( 企業 )	<p>今日に至るまでの企画、立案、運営、今後の課題について、非常に分かりやすい内容で、大変勉強になりました。発表者、報告者、助言者の熱意がすごく伝わってきました。</p>	<p>今後、CSTがより認知されていくよう、企業としても発信できるよう取り組んでいきたいと思えます。</p>
27	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSTの受講者、教員、教育委員会が一同に会す場は、大切だと思います。</li> <li>・このような場で、情報交換を行うことで、縦・横のネットワークができ、CST事業がより盛り上がっていくことを期待します。</li> </ul>	<p>県内の理科の先生全員が参加できるというイベントになると思えます。</p>